

修復するに感ずる

うでのアガを見よ

この茶色は一部この茶から

手紙には色が変わって来た

少しづつ有るって来たのだ

でもさかまといたい

この体の表面を修復出来るのだ

汗全体にははたういたう

まのりやれなくあるかも

それには出来るかも少しはへ

体の力のうけえうきありかどう

これ以上ヨクばうあり

体にほろあをアキに

ほろあは何だ

甚そく正しい英話だ

今夜も夕十一時に入らう

おまくるくてもハツ止れ入る

実行する出来た

でも朝がある夜半の時である

お母だこれかまうかとい

でも ちやうどくは かんはれ

今朝は工<sup>ア</sup>マコシ 午<sup>ト</sup>と 十八度ある

そうた と今りの部屋<sup>ク</sup>の整理がある

完船候 えくると と今りの部屋<sup>ク</sup>に

ついである

ゆかり<sup>ク</sup>に とも 任<sup>ク</sup>方<sup>ク</sup>る<sup>ク</sup>に

よむ<sup>ク</sup>の<sup>ク</sup>と<sup>ク</sup>り<sup>ク</sup>か<sup>ク</sup>え

よかゆ<sup>ク</sup>と やまいの 意<sup>ク</sup>に<sup>ク</sup>も<sup>ク</sup>の 持<sup>ク</sup>つ<sup>ク</sup>て<sup>ク</sup>く<sup>ク</sup>の

そよ<sup>ク</sup>に<sup>ク</sup>今<sup>ク</sup>か<sup>ク</sup>に<sup>ク</sup>平<sup>ク</sup>に

し<sup>ク</sup>や<sup>ク</sup> 工<sup>ク</sup>の<sup>ク</sup>よう<sup>ク</sup>な<sup>ク</sup>人<sup>ク</sup>は<sup>ク</sup>川<sup>ク</sup>の<sup>ク</sup>り

自分<sup>ク</sup>である 自分<sup>ク</sup>です

2025  
3/23